

## 稲 作

## 水稲低コスト省力化に向けた取り組み

平成30年2月より、北海道米麦改良協会では、ホクレンからの業務委託により、全道各地の生産者・JA・農業改良普及センター等のご協力をいただきながら、水稲低コスト省力化に向けた実証試験に取り組んでおります。

実証試験は、密苗・疎植・直播などの栽培試験と自動給水装置・水田センサー等といったICT技術実証試験を行っており、今後、それぞれの地域に合った栽培技術・ICT技術等の情報提供・普及推進を行う予定です。

また、全道各地で開催されている地区米麦改良協会の良質米麦生産技術講習会やホクレ

ン主催の担い手研修会等においても、水稲の低コスト省力化技術に係る情報提供をさせていただいており、今後もこうした研修会等を通して一人でも多くの生産者の方々に情報提供できるよう取り組んでまいります。

今夏から、生産者をはじめ、関係団体・関係機関等の生産現場からの声を弊社業務に反映させ、より良い体制作りが可能となるよう、弊社Facebookの取り組みも開始しました。

弊会の取り組みに対するご意見・要望等もお寄せいただけますよう、あわせてご案内申し上げます。



<道南地区水稲省力化栽培技術現地検討会>



<自動給水装置>



<水田センサー>